

2024春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

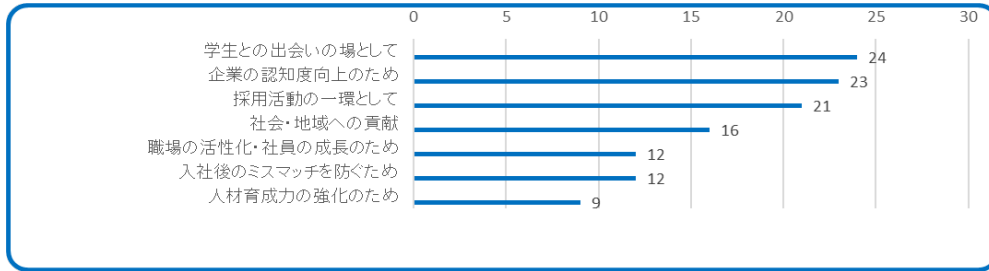
2024春期しまね短期仕事体験受入事業所 実施報告アンケート

受入企業数 : 43社

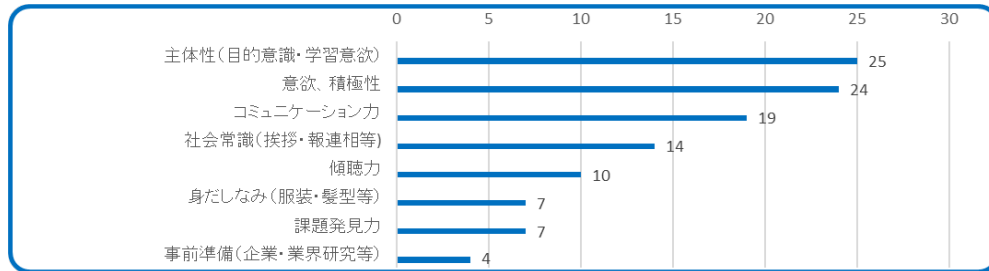
回答データ: 29件

回答率: 67.4%

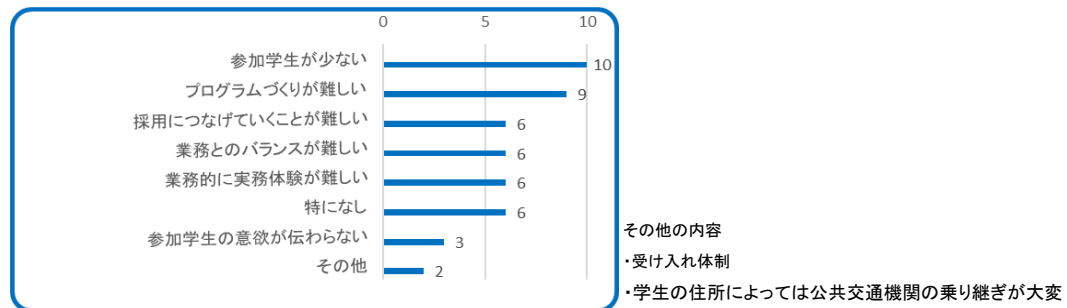
問1 短期仕事体験を受け入れた主な目的として該当するものを選択してください。(複数回答可)



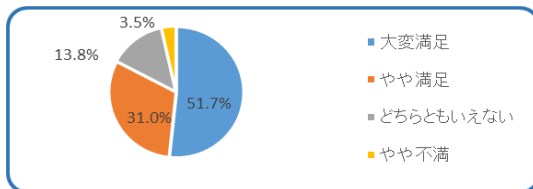
問2 短期仕事体験参加学生に求めていること(複数回答可)



問3 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(複数回答可)



問4 全体を通した満足度



2024春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

記述1 短期仕事体験で学生を受入れるうえでの問題点・課題(抜粋)

- ▶ 受け入れ側のスケジュール都合で、鳥取県側のインターンと同時に受け入れた。
- ▶ 多くの希望をいただくのは大変ありがたいが、なかなか同時に大人数を受け入れられない。
- ▶ 個人情報しかない業種なので、前線の仕事を見せることが難しい。
- ▶ 職種的に体験が難しい。
- ▶ 小売業の場合学生さんが店舗をすでにご存じなので、業界研究のために短期仕事体験に参加する方が少ないように思う。

【プログラム作り】

- ▶ 幅広い分野に触れていただけるようにプログラムづくりに努めましたが、学生が思う体験とマッチしているかどうか分からない。
- ▶ 学生の要望が分かりづらいこともあるのでプログラムづくりが大変なこともあります。
学生の本心を把握することができていないかわからない状態で進めていかざるをえず、常に学生の期待に応えられているのかと自問自答の日々でした。限られた時間でそれぞれの学生にとって充実した時間にする事の難しさも感じました。
- ▶ 未経験の学生と経験がある学生と一緒に短期仕事体験に来ていたため、それぞれの学生で進捗に大きく差がでてしまい、事前に用意していたプログラム通りに進まなかった。

【社員の負担】

- ▶ 複数人数で対応することが難しく、通常業務と並行して進めざるを得ないこと。
- ▶ 実施に合わせて社員のスケジュール調整が難しい場合もある。
- ▶ 担当できる社員が少なく、かつ業務と並行の為、実施タイミングが難しい時がある。(業務を優先せざるをえず学生の受入を断念することがある)

【採用につながるか】

- ▶ 参加学生によっては「単位のためにとりあえず来た感」が見える。
ふわふわした感じで意欲が見受けられない。
▶ 学校で必修になっているのでしようがなく来ましたみたいな感じでした。
- ▶ 当社への入社を全く考えていないことが分かる学生を受け入れる場合、体験に携わる社員のモチベーション維持が難しい。
- ▶ 参加される学生はいらっしゃるが、単独企業説明会等の参加につなげることに難しさを感じています。
- ▶ 短期仕事体験から採用につながったことがまだないので、体験後どうフォローするべきか分かりかねています。
- ▶ 学生の応募数の少なさと、応募学生の選考へ進まれる割合・内定率が低い。
- ▶ 体験からのここで働きたいと思ってもらうまでが課題。

記述2 より良い「短期仕事体験」となるように、自社で工夫したことはありますか？ (抜粋)

- ▶ 初日の3日間で各部署を見学してもらい、残りの2日間は学生が希望する部署の見学や出来る限りの体験を実施していただきました。
- ▶ 体験してみて楽しかったと言われる様に心掛けていました。
- ▶ お2人の大学の学部に合わせて、製造などの現場での体験を多めにした。
- ▶ 誰でも参加できるようオンライン(Zoom)で実施しました。
- ▶ 実務で使用している言語を少しでも身近に感じて貰えるように、その言語を使った業務体験を行った。
- ▶ 仕事の良いところではなく、悪いところをあえて伝えるようにしました。

2024春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

【事前準備・ヒアリング】

- ▶ 事前に体験したい内容をメールで聞き取りを行った。
- ▶ 事前にオンラインで打合せをし、何を知りたいか、何をやりたいかを聞きました。
- ▶ 入りたいクラスや学びたいこと等本人の希望を確認しながら行った。
- ▶ なるべく参加学生の要望をくみ取り、学生の希望にあったプログラムを作ることを心がけています。
- ▶ 事前にできるだけ具体的なプログラムを開示して、体験の中身のイメージがわくように配慮した。
- ▶ 事前にどのような内容に興味があるかヒアリングを行ったと共に、仕事体験中に関わる社員数が多くなるようにし、学生に当社の雰囲気を伝えやすくした。
- ▶ 事前に何がやりたいか聞き、初日に短期仕事体験の課題をすり合わせ、最終日に職員の前で発表してもらい講評を実施した。発表後は社長のフィードバックを1対1で実施した。
- ▶ 事前連絡の際に興味のある事業をヒアリングし、仕事体験前に開催した外部向けイベントへの参加を促した。
- ▶ 事前にやりたいことを実習店舗に共有した。
- ▶ 事前に日々のタイムスケジュールを周知し、また、過去の短期仕事体験の様子を情報提供した。

【交流会】

- ▶ 事前に動機などを尋ねた、若手社員との交流会を設けた。
- ▶ ステップ毎に成果の検討を実施し、修正を指示し、立派な成果を収めた。また、最後に社員と交流会を催し、仕事に対する今後の考え方を意見交換した。
- ▶ 女性社員とのランチ会を3回実施。島根出身者の様々なキャリア観を知ってもらうよう努めた。
- ▶ 担当を若手社員にもらい、交流しやすい雰囲気づくりを心掛けています。
- ▶ 若手社員と交流する時間をもち、社員のホンネを聞いてもらえるようにしたこと。
- ▶ 若手社員数名との交流の時間を設け、実習生に仕事の事や仕事以外の事について、気軽に質問をして貰えた。
- ▶ 極力、学生さんと会話をすることを心掛けた。(始業終業時の報告で会話をする、日常的な声掛け、一緒に昼食をとる等)
- ▶ いろいろな職種の社員との交流を増やしました。
- ▶ 最終日の報告会に受け入れ部署ではない職員も参加した。

【課題解決・振り返り】

- ▶ より実際の研修や終礼を感じてもらえるワークショップを新たに用意しました。また、初日に目標や目的を深める時間を設け、達成できるよう体験期間中の実習内容を再考するなどしました。
- ▶ 振り返りの時間を大切に、日々の活動の中から学びや気づきを見つけ出すことを意識づけた。他人の振り返りへの意識を高めて、全体での気づきの共有を意識した。
- ▶ 従来の総合的な案内や体験でなく、業界の問題点とそれを解決するための自社の取り組みの学習により時間を割いた。
- ▶ 課題作成にかなり時間を取っていましたので、次回より課題に取り組む際のコツのようなものをより伝えたいと思います。
- ▶ 課題発表の内容を早速その日に活用させていただき、学生に見せることができた。

2024春期しまね短期仕事体験 実施報告アンケート集計結果【受入事業所】

記述3 全体を通した満足度の理由(抜粋)

【大変満足】

- ▶ 弊社の社員一同で学生の受入に向けて、気持ちを一つにできたため。(その過程こそが会社の改善や人材育成になるように感じました)
 - ▶ 学生との交流により、事業や会社への誇りを再確認することができたため。
 - ▶ 今後にもつながる学生との出会いに感謝しているため。
- 学生から「名前だけ知っていたが入ったことはなく、今回体験を通して仕事内容やスタッフの雰囲気はわかってよかった」と感想をいただき、参加していただいても嬉しい気持ちになりました。
- ▶ 2人からも貴重な感想を頂きましたし、社員も学生の受入れを対応したことが無い人が今回複数の内容にて対応し、社員としてもいい経験になりました。
- 今回来てくださった学生さんが、積極的に、真面目に取り組んでくださり、とても良かったです。礼儀正しく、コミュニケーション能力も高く、本当に良い方でした。
- ▶ 参加学生の「働く」に対するイメージを変えるきっかけが与えられた・県内大学に通う学生と接点を持てた。
- ▶ 1名の方に参加して頂き、当法人の仕事を体験して頂いた。
- ▶ 3名の学生にお越しいただき、皆さん真剣に取り組み、質問も沢山してくださいました。
 - ▶ 質問からこちらが学ぶ事も沢山ありました。
- ▶ 参加学生の積極性を感じ社員のモチベーションが上がった。
- ▶ 学生さんとの良い出会いの場となったため。少しでも社会貢献することができたため。
- ▶ 目標としていた速度より早く進み、良い成果を残した。本人も成長に満足していると思われる。
- ▶ 当初掲げた目的を達成できたから。
- ▶ 3日間と短い間でしたが、一生懸命ワークに取り組む姿に学生の成長を感じました。また、参加学生を弊社選考に来てくれました。
- 参加した学生さんは1日目に面接を希望していましたが、最終日にもう一度意思確認したところ、思っていたのと違う仕事内容に慎重に検討しますとの返答でした。
- ミスマッチはお互い避けたいので良いきっかけになったと思います。

【やや満足】

- ▶ 参加者の方に非常にまじめに取り組んでいただけた。
- ▶ もっと地元出身者の参加学生を増やしていきたい。
- ▶ 企業として、学生さんへ提供できる内容が少なかったのではないかと感じている。テレワークや年度末等もあり、幅広い社員とのコミュニケーションの場を設けることが出来なかったため。

【どちらともいえない】

- ▶ 参加学生が少なかったこと。
 - ▶ 就職に直結しそうな学生の参加がなかったこと。
- ▶ 参加して下さった学生の質は非常に良かったが、学生の参加数が少なかったため。